

共-46 著者推定の数理統計学的研究 — 日蓮の三大秘法稟承事の真偽判定 —

統計数理研究所 村上 征 勝

本研究の目的は、これまで数量的なとり扱いがほとんどなされていない、著作の真偽判定や著者の推定という、いわゆる“著者推定の問題”に対し、文体に関する数量的な情報を利用した数理統計学的解析法を確立し文献学、書誌学の研究に新領域を開拓することにある。具体的には、現下の文献学的レベルにおいて真偽未決とされているが、しかし日蓮の実践的な仏教思想を理解する上で極めて重要な文献である「三大秘法稟承事」の真偽判定問題をとりあげその結論導出を試みる。

共-47 感動の国際比較方法に関する研究

統計数理研究所 林 知己 夫

諸外国で行われた歌舞伎観客アンケート調査データの分析を通して、日米及び諸外国の感動の構造を比較する普遍的方法を研究し、あわせて、日本を理解させるための客観的基礎情報を得ることを目的とする。

共-48 大気汚染の発生と拡散に関する実証的研究

統計数理研究所 樋 口 伊 佐 夫

大気汚染の伝播や拡散は複雑で時間空間の観察スケールのみならず汚染ガスの種類によっても現象は異なる。とくに三次元的考察が必要であるが、従来は二次元拡散方程式を基本に、大きなシミュレーションも行われて来た。この研究では、現象に対する洞察と、観測網のデータ、気象データ其他を用いて、従来慣用されている謬見を正し、データにもとづいて正しい描像を行う。

共-49 都市環境に対する態度計量化の基礎的研究

統計数理研究所 水 野 欽 司

都市環境の問題、特にアメニティ、に対する住民の認知や態度の計量化は、方法論的に未開拓の課題が多く、基礎的な事項から細部の吟味を積み上げる必要がある。本研究は、既存の態度調査データを比較分析し、回答内容の妥当性や信頼性、尺度化可能性など、データがもつ情報的な性質を把握・整理し、それらの性質に適合するデータ解析の具体的な方式を検討する。

共-50 森林環境に関する統計的研究

統計数理研究所 石 田 正 次

生活環境としての森林の最適配置とその管理法を統計的立場から研究する。なおこの研究は環境庁研究費による「生活環境としての森林の有効利用とその保全に関する統計的研究」（統計数理研改組のため、59年度で打ち切り）（環境庁研究費）の継続的な意味もある。